

西部地域デジタルマップ出前講座と塩尻小学校学習支援の振り返り

西部地域デジタルマップの出前講座について

【実施日】：9月28日(水)19:00～

【実施場所】：下塩尻公民館

【対象者】：桜つつみホテルの会の皆さん

【目的】：デジタルマップがどんなサイトなのか、そして、使い方を直接伝えることで、デジタルマップというサイトがあることやデジタルマップに興味を持つきっかけに繋げるとともに、写真を投稿する楽しさを知ってもらう

【実施してみて感じたこと】

- ・思っていたよりもデジタルマップに興味を持ってくださる方が多かった
- ・スマホは連絡手段をとるためのものだと思っていた方がほとんどだったが、活用の仕方一つにデジタルマップがあることを感じてもらうきっかけになった
- ・投稿の実践を行っている際に、積極的に投稿してくださる方が多かった
- ・投稿の仕方を1回の実施だけではなかなか覚えることは難しく、身に付けるまでに何回も講座を開く必要がある

塩尻小学校学習支援について

【実施日】：10月31日(月)・11月25日(火)

【ターゲット】：塩尻小学校3年生の児童

【目的】：「塩尻小まなびサイト」というデジタルコモンズサイトを活用し、chromebookの学習を充実させることで、子どもたちの主体的な学びに繋げる

【実施内容】

- ・10月31日→塩尻小まなびサイトの使い方の説明と投稿の実践
 - ・時間が限られていたため、先生の指示でその場で天井の写真を撮り投稿
- ・11月25日→11月8日(金)に行った地域探検の写真を投稿
 - ・地域探検当日、児童がchromebookを使えなかったため、地元の方に撮影していただいた写真を使用
 - ・先生自身も投稿の仕方を忘れてしまっていたため、始めにもう一度使い方の説明をしながら、地域探検の時に組んだグループごとに1件ずつ投稿

【課題】

- 先生との事前の打ち合わせ・意見交換の重要性
 - ・一学期の時点で動く→先を見越して早めに提案しに行く
 - ・一度だけの提案だと、その内容を受け入れてもらうことは難しい
- 授業の進め方(神川小学校の学習支援の経験も含めて)
 - ・一通りやり方を教えたうえで、改めて一緒に進めていく

- ・タイトル、説明と一つ一つ説明して操作してだと、できている子は先に進めない
→時間ももったいない、投稿できる子がたくさん投稿できなくなってしまう
- ・支援がなくても積極的に使ってもらえるようにする(フォローアップとして行う)
→学習支援を行う時にしか利用してもらえない、発展的な利用に繋がらない